

L4

## 空気清浄システムに関する提案書

～製品の魅力を効果的にアピールしよう～

以下の英文は、ある外資系メーカーの空気清浄システムの提案書の冒頭部分です。文体は「です・ます」調としてください。

### 演習課題

## Proposal on Introducing Our Air Cleaning Systems – Leave everything about air cleaning to us

We recommend you to begin considering whether a "filter-type" or "ion-type" air cleaning system is more appropriate to your needs, and whether the manufacturer is a reliable supplier committed to air cleaning in the long term with satisfactory after-sales service.

(snip)

The removal of our air cleaning filter is quite simple and done by closing the base valve, removing the four front screws, lifting the domed holder, and unscrewing the filter element from the holder. The filter element can then be cleaned under running water.

(snip)

We have suffered from the problem of “breeding of various germs” inside the air cleaner when not in use. “We want to breathe clean and germfree air” - Our CleanAir series is a solution to meet such needs. Our original germ sensor enables you to solve that problem with lower operation costs.

### 原文の背景

ビルや店舗などの大規模空気清浄システムを売り込むための提案書です。読者対象は、テナントビルのオーナー、大規模量販店、店舗、病院、養護施設などの経営者、公共工事などの発注担当者や建設業者など多岐に渡ります。

原文のメーカーは、テナントビルなどの比較的大きな建築物に空気清浄システムを導入するための設計、施工、アフターメンテナンスまでを総合的に請け負う会社です。

家電量販店などで販売されている家庭用の小型空気清浄機とは異なり、建物の構造に応じてさまざまなデザイン、性能、方式などを提案します。ビル、店舗、病院、公共施設などのさまざまな建造物で用いられる大型の空気清浄システムであるため、導入場所に応じてさまざまな形態の空気清浄設備を用意しています。

なお、原文に登場する空気清浄フィルタは、フロアまたは店舗ごとに交換やメンテナンスが可能な独立タイプとなっています。

### 用語

|                     |              |                           |                  |
|---------------------|--------------|---------------------------|------------------|
| proposal            | : 「提案」       | lift                      | : 「持ち上げる」        |
| air cleaning system | : 「空気清浄システム」 | domed holder              | : 「ドーム型のホルダー」    |
| filter-type         | : 「フィルタ式」    | filter element            | : 「フィルタエレメント」    |
| ion-type            | : 「イオン式」     | snip                      | : 「中略」           |
| supplier            | : 「販売業者」     | breeding of various germs |                  |
| after-sales service | : 「アフターサービス」 |                           | : 「雑菌繁殖」         |
| removal             | : 「取り外し」     | air cleaner               | : 「空気清浄機」        |
| base valve          | : 「ベースバルブ」   | CleanAir series           | : 「CleanAirシリーズ」 |
| screw               | : 「ねじ」       |                           |                  |

### ヒント・着眼点

製品の魅力やメリットが読者にきちんと伝わるように日本語表現を工夫してみましよう。今回は1センテンスがかなり長いものがありますので、文を区切って訳してもよいでしょう。その際、英語では書かれていない接続詞を日本語訳で補うことによって、読み易い文章に仕上げることができます。

今回の課題の読者対象は経営者、建築業者、官公庁、病院など多岐に渡ります。そうした顧客に対して製品やサービスを売り込むのにふさわしい言葉使いも配慮するとよいでしょう。

## よくある訳文

当社空気清浄システム導入の提案—空気清浄のすべてを当社に依頼してください

当社は、必要とする空気清浄システムが、「フィルタ式」か「イオン式」のどちらがよりニーズに合っているのかを検討することから始めることをお勧めします。メーカーが長期に渡って空気清浄に専心している信頼できる販売業者であるかどうかを確認し、購入後に十分なアフターセールスサービスを受けられるかどうかを検討するとよいでしょう。

(中略)

当社の空気清浄フィルタの取り外しは極めて簡単で、ベースバルブを閉じ、フロント部のねじ4本を取り除き、ドーム型のホルダー全体を持ち上げ、ねじをゆるめてフィルタエレメントをホルダーから取り外すことによって行うことができます。その後で、そのフィルタエレメントを流水下で洗浄することができます。

(中略)

当社では、空気清浄機内部において、非使用時の「雑菌繁殖」という問題に悩まされてきました。「クリーンで雑菌のない空気を吸いたい」— CleanAir シリーズはこのようなニーズを満たすための解決策です。当社独自の雑菌センサにより、そうした問題をより低い運転コストの削減とともに解決いたしました。

以下の改良訳文を見てください。

▶よくある訳文：

当社空気清浄システム導入の提案—空気清浄のすべてを当社に依頼してください。

▶改良訳文：

空気清浄システム導入のご提案

—空気清浄は当社におまかせ

まず、【よくある訳文】の「～の提案」(△)は間違いではないのですが、【改良訳文】では「ご提案」(○)となっています。

本来、尊敬語としての「ご」は相手の行為に対する敬意を表すために名詞の前に付けるものです。「ご(+名詞)」は自分の行為に対しては付けません。

このように考えると、「ご提案」という表現は厳密には誤用となります。ところが、実際のビジネスの場面では、相手に対する尊敬語としての「ご」が多用される傾向があり、特に「提案書」(Proposal)の本文では「ご提案申し上げます」「ご提案させていただきます」「当社からのご提案です」という表現はしばしばみられます。

このような表現は、顧客や取引先などを相手にするような場面で社会的に幅広く用いられており、日本語として定着しており、自然な表現であるとみなすことができます。

また、タイトルの後半は【よくある訳文】では「のすべてを当社に依頼してください」(△)のように命令形になっていますが、提案書のタイトルとしてはやや不適切です。顧客が空気清浄システムを導入するかどうかは、顧客が提案書の内容を見て決定することであり、ここでは命令口調のような断定的な表現は避けるべきです。

【改良訳文】の「～は当社におまかせ」(○)は簡潔な文体ですっきりまとめています。「～なら当社におまかせ(ください)」(○)でもよいでしょう。一般に「です・ます」調の指定があっても、タイトルは「です・ます」にこだわる必要はありません。また、「おまかせ」という言葉の中には「すべて一任する」というニュアンスが込められており、わざわざ「すべて～してください」(△)と言わなくても「～なら」「～は」で everything のニュアンスを表現することができます。

なお、【よくある訳文】の初めの「当社」は、すぐ後ろに「当社に」とありますので、訳出するとかえって冗長になります。また、この提案なら当社に、というようなインパクトを考慮すると、【改良訳文】のように2行表示にしたほうがよいでしょう。

## ◆ 訳出上のポイント ◆

【よくある訳文】の下線部分は、何らかの改善すべき問題点が見られる箇所です。

これまでの Lesson と同様、網かけ部分の訳文を、どのように改善すればよいか検討していきましょう。

以下、訳出上のポイントを解説します。

### 【タイトル】

#### ① Proposal on Introducing Our Air Cleaning Systems – Leave everything about air cleaning to us

訳出上のポイントはタイトルらしい日本語表現を工夫することです。ここでは【ヒント・着眼点】で述べたような読者対象を意識することが大切です。特に【よくある訳文】の日本語の言葉使いには改良の余地があります。

## 【第1パラグラフ】

② **We recommend you to begin considering whether a “filter-type” or “ion-type” air cleaning system is more appropriate to your needs, and whether the manufacturer is a reliable supplier committed to air cleaning in the long term with satisfactory after-sales service.**

ここでの訳出上のポイントの1つは長いセンテンスの処理です。1センテンスで41ワードもありますので、途中で文を区切って訳すとよいでしょう。【よくある訳文】でもその点では問題ありません。ただし、【よくある訳文】では you を明確に訳出していませんが、このような提案書では you を「お客様」(○) とはっきり訳すことをお勧めします。

ちなみに冒頭の We は「当社、弊社」の意味ですが、こちらは日本語では省略した方が自然です。なぜなら後半の文章で the manufacturer という単語が登場するからです。これは「(顧客が空気清浄システムの購入先として検討している)メーカー」という意味です。

さらに、committed to ~ の解釈にも注意が必要です。一般には commit oneself to ~ で「~に傾倒する、~に専心する」という意味で用いられますが、ここでは意味上の主語 (a reliable supplier) とその目的語 (air cleaning) との関係を考えて、適切な日本語訳を選択する必要があります。

なお、【よくある訳文】の「アフターセールスサービス」(△) は日本語としてはやや不自然で、一般には「アフターサービス」(○) もしくは「アフターサポート」(○) と呼ばれているものです。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

当社は、必要とする空気清浄システムが、「フィルタ式」か「イオン式」のどちらがよりニーズに合っているのかを検討することから始めることをお勧めします。メーカーが長期に渡って空気清浄に専心している信頼できる販売業者であるかどうか確認し、購入後に十分なアフターセールスサービスを受けられるかどうか検討するとよいでしょう。

## ▶改良訳文：

まず、お客様が必要とする空気清浄システムが、「フィルタ式」か「イオン式」のどちらがふさわしいか検討することから始めることをお勧めします。また、当該メーカーが長期に渡って空気清浄機を本格的に手がけている信頼できる販売業者であるかどうか、かつ購入後に十分なアフターサービスを受けられるかどうか検討するとよいでしょう。

このように長い文の場合、途中で文を区切って訳すと効果的ですが、英文に書かれていない接続詞（または接続語句）を日本語で補うことによって読み易い文章に仕上げることができます。【改良訳文】では「また」と「かつ」の2か所を補っています。

## 【第2パラグラフ】—第1文—

③ **The removal of our air cleaning filter is quite simple and done by closing the base valve, removing the four front screws, lifting the domed holder, and unscrewing the filter element from the holder.**

ここでの訳出上のポイントは文情報の整理です。フィルタエレメントとは、空気清浄機のドーム型のホルダー内部に格納されているシート上の素材のことです。このシートにより、空気中の汚染物質を吸着して空気の汚れを取り除きます。

この文も比較的長い文です。原文情報は以下のようにスラッシュ (/) で区切って整理することができます。

**The removal of our air cleaning filter is quite simple / and done by closing the base valve, / removing the four front screws, / lifting the domed holder, / and unscrewing the filter element from the holder.**

これは以下の5つの部分に分かれます。

- (1) 当社の空気清浄フィルタの取り外しは極めて簡単。
- (2) ベースバルブを閉じる。
- (3) フロント部のねじ4本を取り除く。
- (4) ドーム型のホルダー全体を持ち上げる。
- (5) ねじをゆるめてフィルタエレメントをホルダーから取り外す

【よくある訳文】では、(1)から(5)までの情報をすべて1つの訳文に詰め込んでいます。上記の情報をよく見ると、(1)は作業の簡単さを述べているもので、(2)から(4)までは順番に行う具体的な作業方法を述べています。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

当社の空気清浄フィルタの取り外しは極めて簡単で、ベースバルブを閉じ、フロント部のねじ4本を取り除き、ドーム型のホルダー全体を持ち上げ、ねじをゆるめてフィルタエレメントをホルダーから取り外すことによって行うことができます。

## ▶改良訳文：

当社の空気清浄フィルタの取り外しは極めて簡単です。まずベースバルブを閉じてから、フロント部のねじ4本を取り除きます。続いて、ドーム型のホルダー全体を持ち上げ、ねじをゆるめてフィルタエレメントをホルダーから取り外すだけです。

【改良訳文】では、3つの文に分けています。上記の(1)-(5)の(1)を単独の文とし、また(3)と(4)、(4)と(5)の手順を2個ずつセットにしてそれぞれ単独の文としています。

また、「まず」(○)や「続いて」(○)のような接続詞を補うことによって順序関係を明確化しています。

なお、～ is done by … は実務翻訳でしばしば登場する構文です。素直な直訳で「…によって～を行う」(○)としてもよいのですが、むしろ【改良訳文】のように **quite simple** を重要情報と解釈し、「～は簡単で、…するだけです」(○)とすると原文のニュアンスがよく伝わります。

## 【第2パラグラフ】—第2文—

④ **The filter element can then be cleaned under running water.**

訳出上のポイントは文頭の **The** と **under running water** の解釈です。【よくある訳文】では **The filter element** を単に「フィルタエレメント」(△)としています。ここでは直前の文の内容を受けて「取り外したフィルタエレメント」(○)と解釈するのが正解です。

また、**under running water** は「流水下で」(×)という意味ではなく、「水道水で」(○)もしくは「水道の蛇口から出る水で」(○)という意味です。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

その後で、フィルタエレメントを流水下で洗浄することができます。

## ▶改良訳文：

取り外したフィルタエレメントは、水道水で洗うことができます。

【改良訳文】では、副詞 **then** の「次に、続いて、それから」という時間経過のニュアンスを「取り外した」という訳語で表現している点に注目してください。

「取り外した」ということは、この文が伝えている内容が、それに続く手順であることを明確に示しているからです。

つまり、ここでは「取り外した」という日本語表現により、**文頭の定冠詞 The と副詞 then の両方を表現していること**になります。これはかなりの上級表現といえます。

## 【第3パラグラフ】—第1文—

⑤ **We have suffered from the problem of “breeding of various germs” inside the air cleaner when not in use.**

訳出上のポイントは文頭の **We** の解釈です。結論から言えば、【よくある訳文】の「当社」(△)は不適切もしくは誤りです。

ここで「当社、弊社」と訳してしまうと、「他のメーカーの空気清浄システムではそうした問題が起こらないが、当社のシステムには雑菌繁殖という問題があった」となり、売り込みの文書としては非常に不自然な記述となってしまいます。

ここでの **We** は、むしろ「**We (当社)**」と「**You (お客様)**」の両方を指すもので、自社に限らず、**一般論として空気清浄機が抱えている問題を述べている**と解釈するのが妥当です。もともと **we** や **you** には一般論としての用法があるからです。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

当社では、空気清浄機内部において、非使用時の「雑菌繁殖」という問題に悩まされてきました。

## ▶改良訳文：

従来、空気清浄機内部では、非使用時の「雑菌繁殖」という問題がありました。

【改良訳文】では **We** を明確に訳出せず、一般論を述べている日本語訳となっています。また、**have suffered from** ～ 現在完了形のニュアンスを「従来～がありました」(○)と中立的な表現で訳しています。もともと **suffered from** ～ は「(何か好ましくないことに)悩まされる、苦しめられる」という意味ですが、日本語では「雑菌繁殖」や「問題」という単語自体にややネガティブなニュアンスが含まれていますので、ここでは「悩まされる、苦しめられる」といった否定的な表現をあえて使わないで処理しています。

## 【第3パラグラフ】—第2文—

## ⑥ “We want to breathe clean and germfree air” - Our CleanAir series is a solution to meet such needs.

訳出上のポイントは、**キャッチコピー風の英文を上手に処理すること**です。【よくある訳文】は素直な直訳で大きな欠点はありませんが、もう一工夫ほしいところです。

ここは翻訳者の腕の見せ所ともいえます。製品の魅力を最大限に伝えたい部分ですので、ここは思い切って表現を工夫してみましょう。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

「クリーンで雑菌のない空気を吸いたい」— CleanAir シリーズはこのようなニーズを満たすための解決策です。

## ▶改良訳文：

「無菌でクリーンな空気を吸いたい」—このようなニーズに応えるために生まれたのが CleanAir シリーズです。

前半の clean and germfree air は語順を換えて訳しています。これは**日本語のリズム感**を考慮したものです。「クリーンで無菌な」(○)よりも「無菌でクリーンな」(○)のほうがわかりやすいリズム感のよい語順となります。「無菌で清潔な」(○)でもよいでしょう。

また、後半は solution を「解決策」(○)のような直訳ではなく、「～するために生まれた」(○)のように意識しています。

もともと solution とは何かの problem を solve するために生み出される手段です。一般には、「～のために生み出された、開発された、つくられた、工夫された、考案された」のように解釈すると自然な日本語表現を選択できます。**solution は文脈に応じてさまざまに訳し分けることができることを覚えておいてください。**

上記の【改良訳文】が唯一の正解ではありません。キャッチコピー風の文章は、さまざまな表現のバリエーションがあります。特に solution の訳語に関しては、上記の【改良訳文】にこだわらず、文脈に応じてさまざまな表現を工夫するとよいでしょう。

## 【第3パラグラフ】—最終文—

## ⑦ Our original germ sensor enables you to solve that problem with lower operation costs.

訳出上のポイントは、この英文が to solve that problem と lower operation costs という「ダブルメリット」を述べている点を正しく読み取ることです。

まず、to solve that problem の真意は「雑菌繁殖を抑えること」(○)ですので、これをそのまま訳として採用してもよいし、「雑菌繁殖という問題」(○)のように具体的に訳してもよいでしょう。

【よくある訳文】のように「そうした問題」(○)としても前後関係から明らかな場合は大きな問題はありませんが、that の内容をできるだけ具体的に解釈するように心がけてください。

また、lower operation costs の訳として【よくある訳文】の「より低い運転コスト」(△)はやや不適切で、「運用コストの削減」(○)とするか、意識して「低ランニングコスト」(○)としてもよいでしょう。

以下の改良訳文を見てください。

## ▶よくある訳文：

当社独自の雑菌センサにより、そうした問題をより低い運転コストの削減とともに解決いたしました。

## ▶改良訳文：

当社独自の雑菌センサにより、運用コストの削減を図りつつ雑菌繁殖を抑えるという問題を解決いたしました。

【改良訳文】の後半では、with ~ 以下を「～を図りつつ」と訳している点に注目してください。これにより、「ダブルメリット」が実現できていることを読み手に訴えかける表現となっています。

## 訳例

空気清浄システム導入のご提案  
— 空気清浄は当社におまかせ

まず、お客様が必要とする空気清浄システムが、「フィルタ式」か「イオン式」のどちらがふさわしいか検討することから始めることをお勧めします。また、当該メーカーが長期に渡って空気清浄機を本格的に手がけている信頼できる販売業者であるかどうか、かつ購入後に十分なアフターサービスを受けられるかどうかを検討するとよいでしょう。

(中略)

当社の空気清浄フィルタの取り外しは極めて簡単です。まずベースバルブを閉じてから、フロント部のねじ4本を取り除きます。続いて、ドーム型のホルダー全体を持ち上げ、ねじをゆるめてフィルタエレメントをホルダーから取り外すだけです。取り外したフィルタエレメントは、水道水で洗うことができます。

(中略)

従来、空気清浄機内部では、非使用時の「雑菌繁殖」という問題がありました。「無菌でクリーンな空気を吸いたい」—このようなニーズに応えるために生まれたのが CleanAir シリーズです。当社独自の雑菌センサーにより、運用コストの削減を図りつつ雑菌繁殖を抑えるという問題を解決いたしました。

## COLUMN

## 優秀なプロ翻訳者に見られる特性

長年、優秀なベテラン翻訳者を見ていると、いくつか共通の特性が見られます。このコラムでは、そうした特性についてご紹介したいと思います。

人生を80年とすると、概算で睡眠に27年、食事に10年、トイレに5年の時間を費やすことになります。これらを差し引くと残りはたったの38年…人生は思ったより短いと思いませんか？そんな短い人生をムダなく生き切るには

- (1) 無駄なことをしない
- (2) 回り道をしない
- (3) 間違っただ道を選ばない

ことが大切です。これはそのまま実務翻訳者にも当てはまります。特に情報に関しては、ムダを排除することが大切です。

優秀なベテランのプロ翻訳者は、知識や情報の量で勝負しているわけではありません。もちろん、語学力や専門知識などの絶対量が大切なことは言うまでもありませんが、それを承知のうえで、あえて

## 「不要なモノや情報を思い切って切り捨てる」

という姿勢が徹底しています。優秀な翻訳者ほど、机の上が綺麗に片付いており、部屋にムダなモノが少なく、総じてシンプルな生活スタイルを送っている傾向があります。

翻訳の学習においては「自分の訳はこれでよい」と思った瞬間に上達がストップします。逆に

「まだまだ自分の翻訳力は未熟だ」

と思っているうちは、おおいに成長の余地があります。面白いことに、初心者の方は自信満々で、上級者ほど謙虚になる傾向が強いのです。実際に、翻訳学校の教室で千数百人の生徒さんとお会いして、そのことを強く実感しました。

「素直で謙虚であることは実力の証し」